

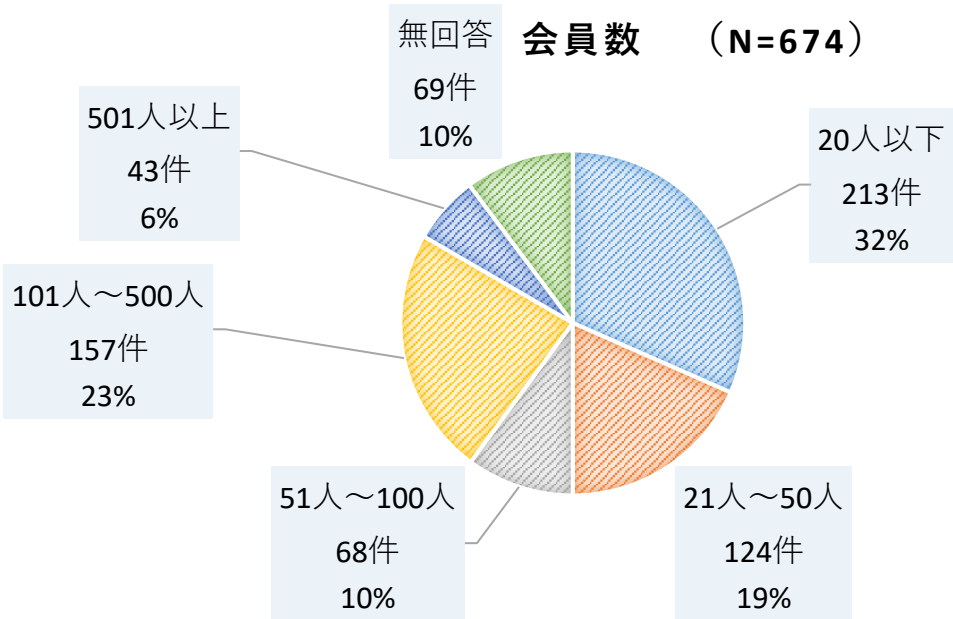
公園愛護協力会の活動に関するアンケート【概要】

アンケート実施年月	令和6年1月		青葉	宮城野	若林	太白	泉	計
送付数	801件（各公園愛護協力会会長宛て）	送付数	211	125	92	202	171	801
回答数	674件（回答率84.1%）	回答数	172	106	80	172	144	674
		回答率	81.5	84.8	87.0	85.1	84.2	84.1

問1 活動されている公園名と愛護協力会の会員数を記入してください。

○会員数は、有志で結成された5名の団体から町内会会員の1,000名超まで、幅が広い。

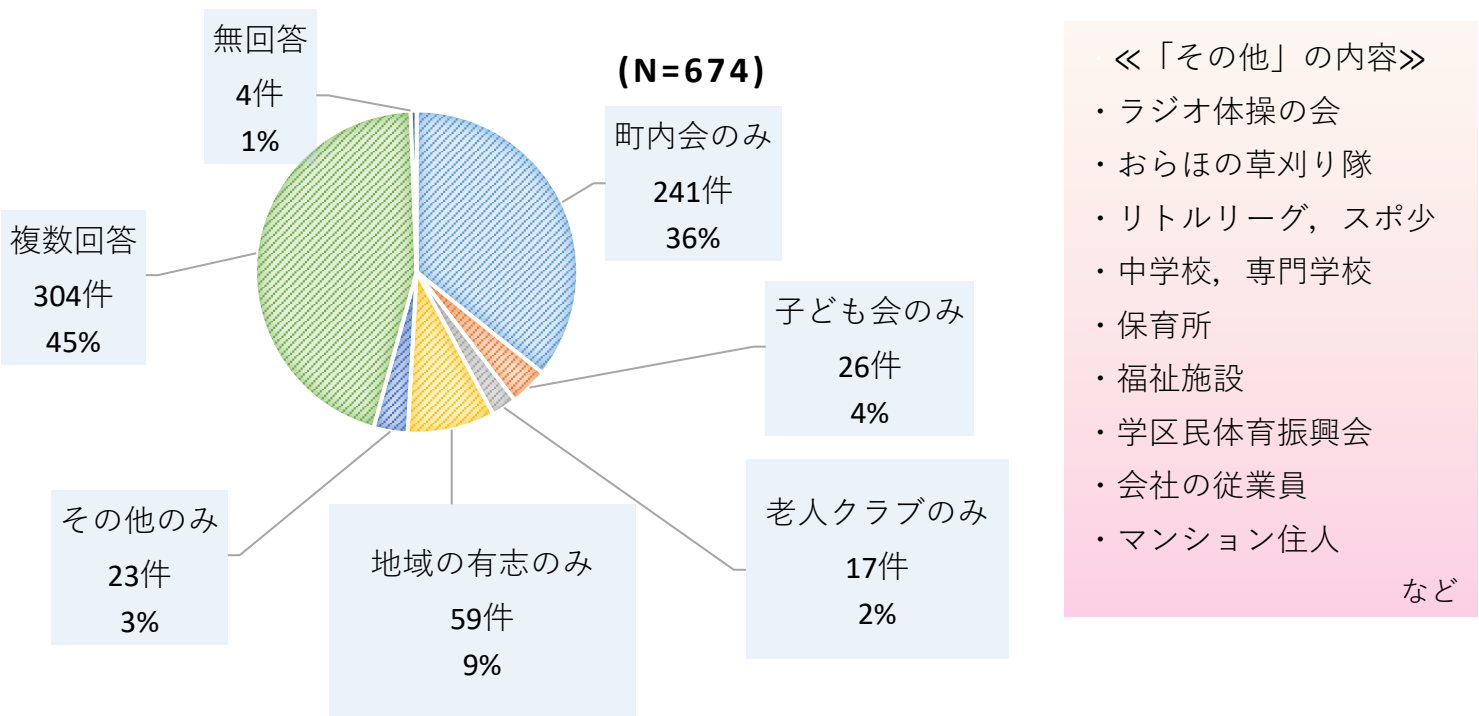
○20名以下の団体の割合が高い一方、100名を超える団体も3割近くある。



問2 主にどのようなメンバーで構成されていますか？（該当するもの全て選択）

○1つの構成団体のみの場合は、町内会で構成されている愛護協力会が多い。

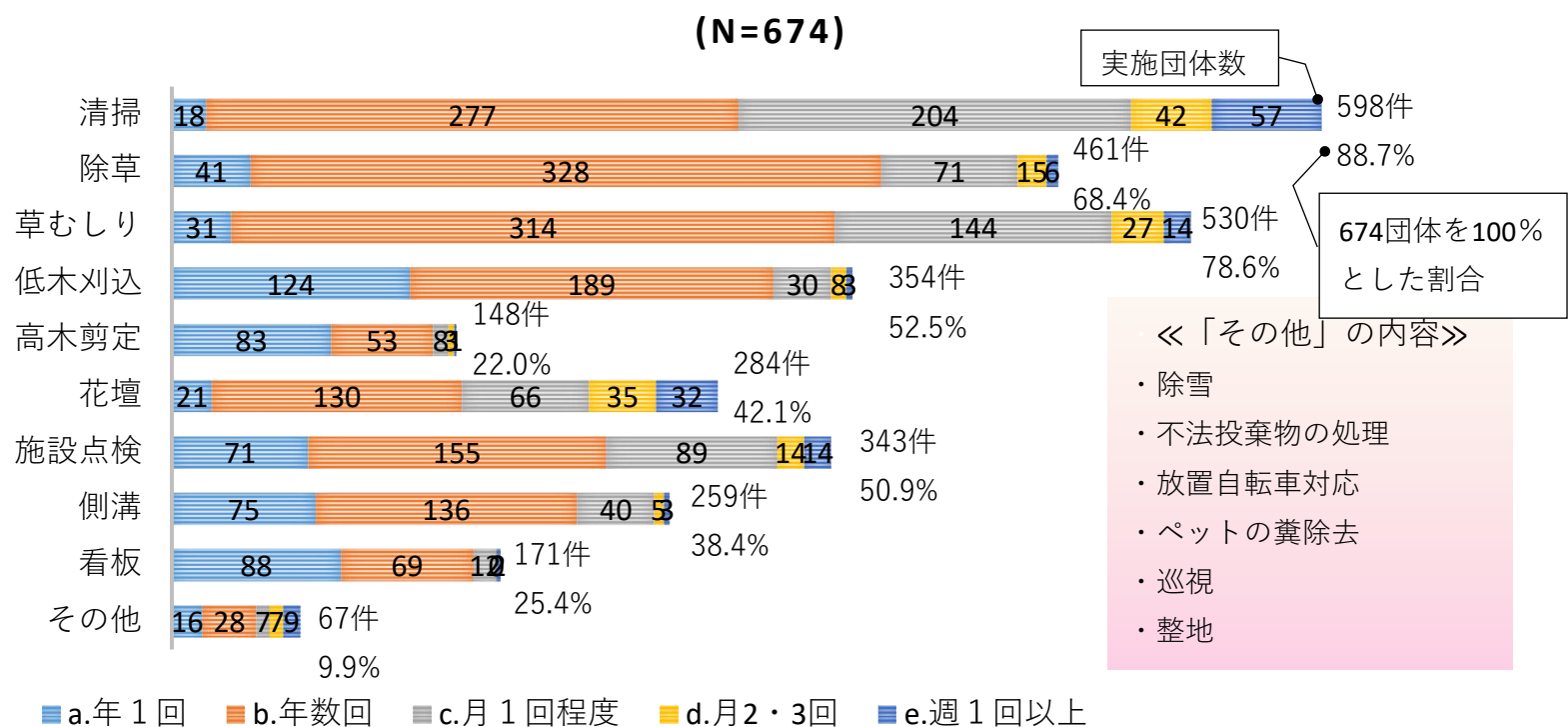
○複数の団体により構成されている愛護協力会の多くも、「町内会と子ども会」「町内会と地域の有志」のように、町内会と他の団体との組み合わせとなっている団体が多い。



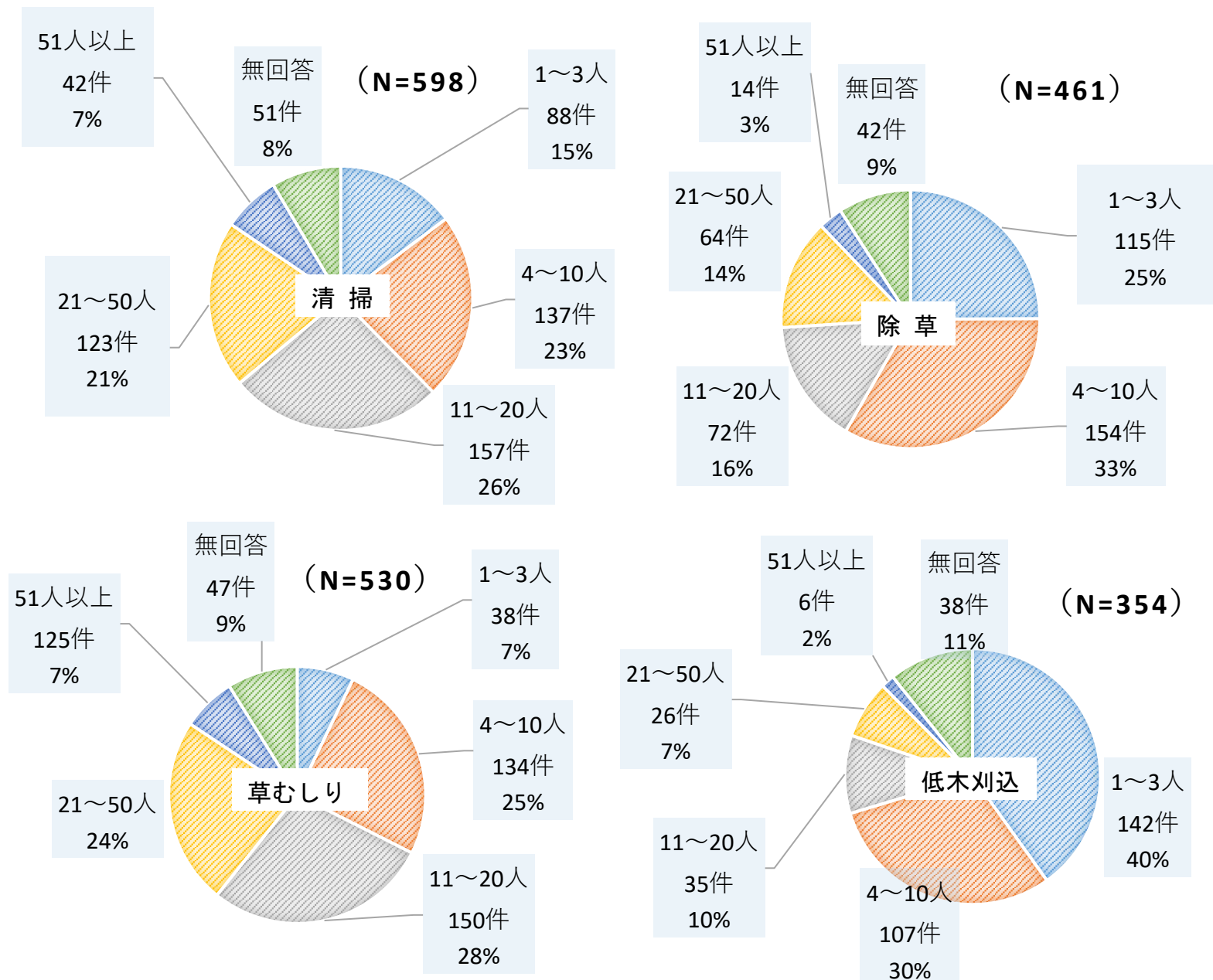
問3 実施している活動ごとの頻度と1回あたりのおおよその参加人数をお答えください。

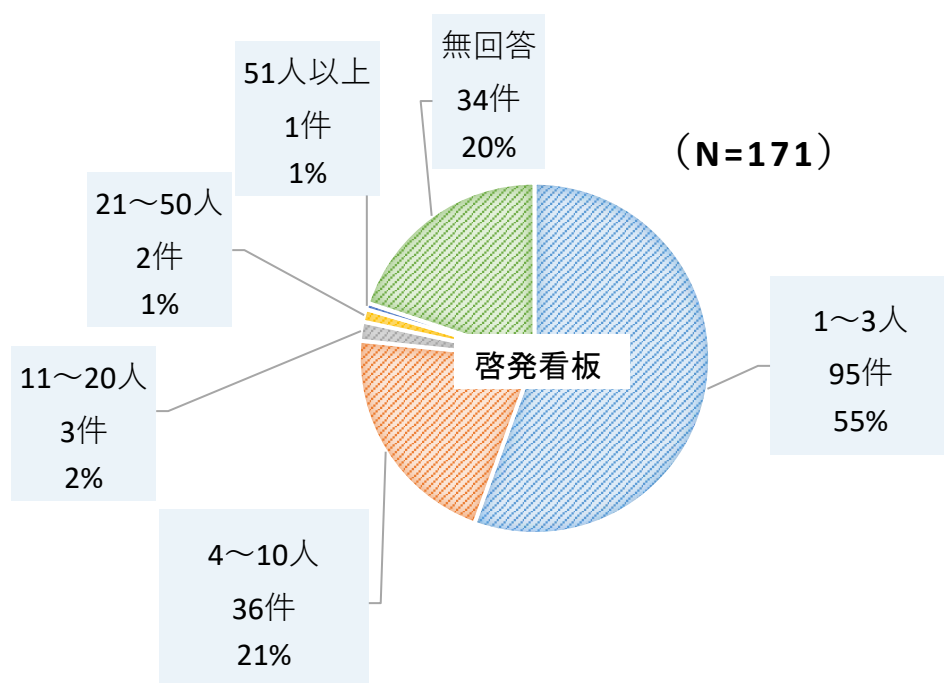
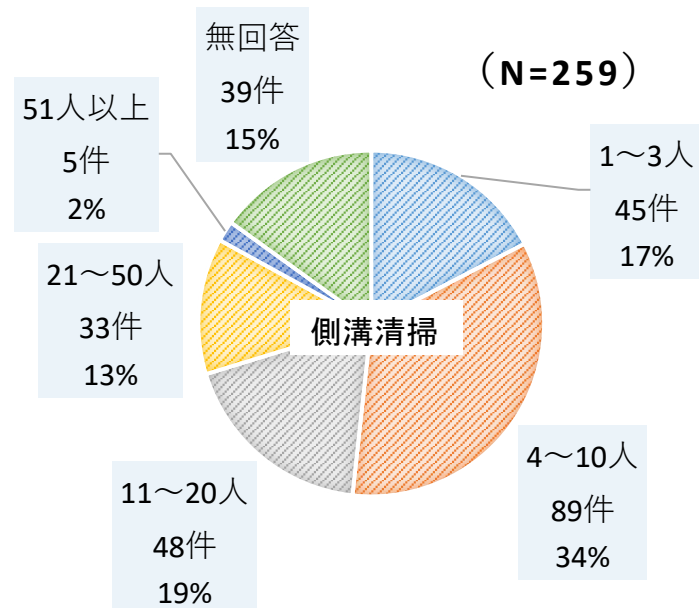
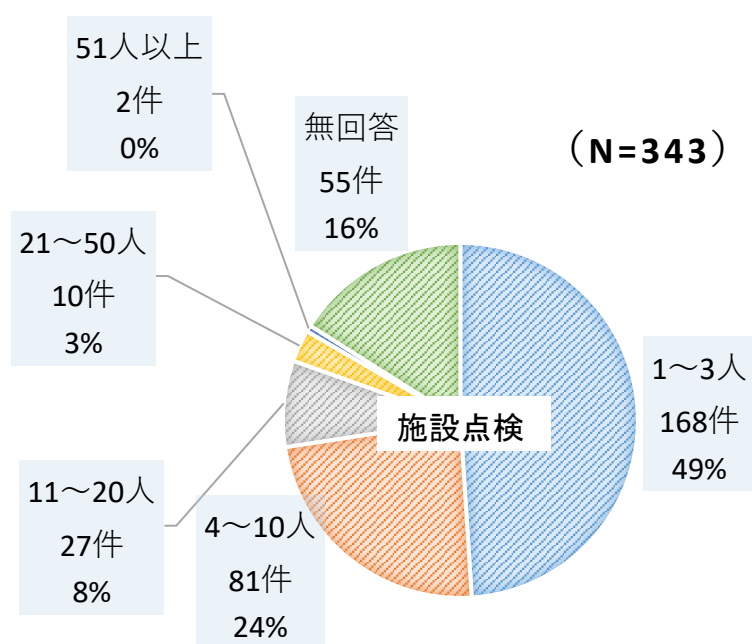
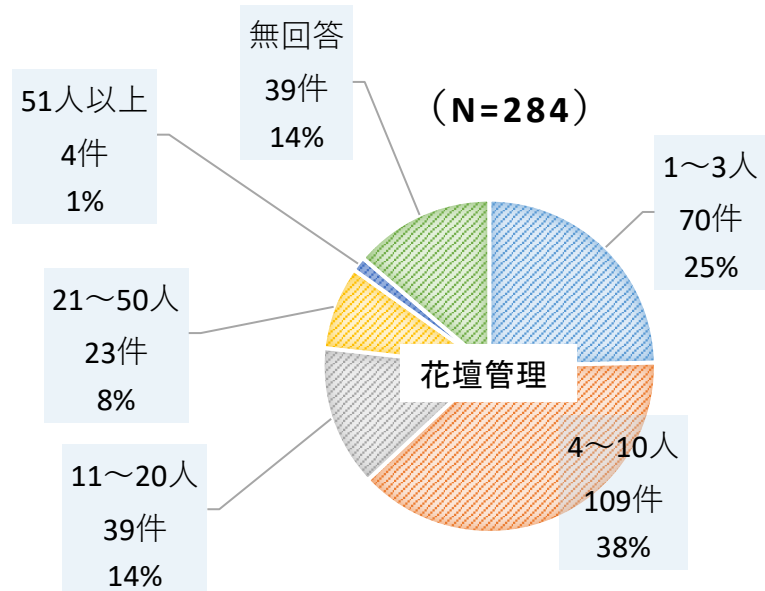
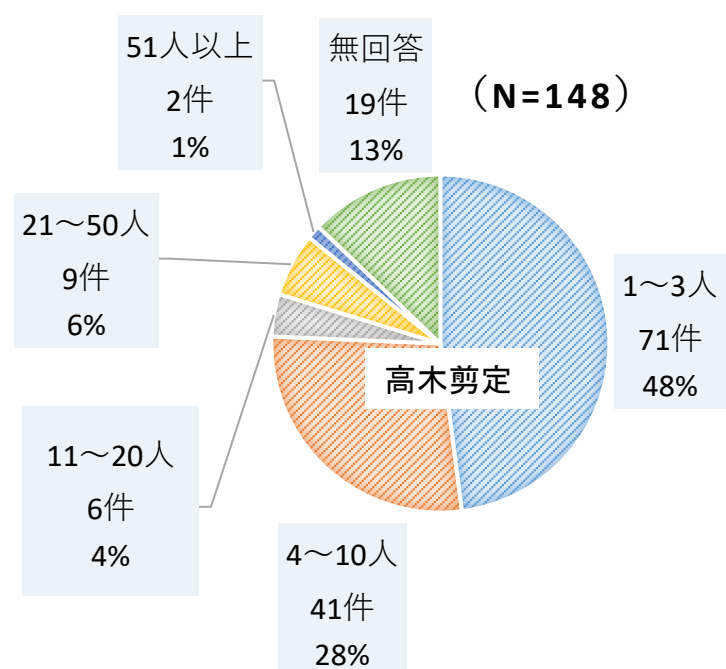
○「清掃」「除草」「草むしり」は実施率が高く、1回あたりの参加人数が多い。「低木刈込」や「施設点検」を実施している愛護協力会も半数以上あり、これらは少人数で実施されている。

○ほとんどの活動において「年数回」実施の割合が高い。



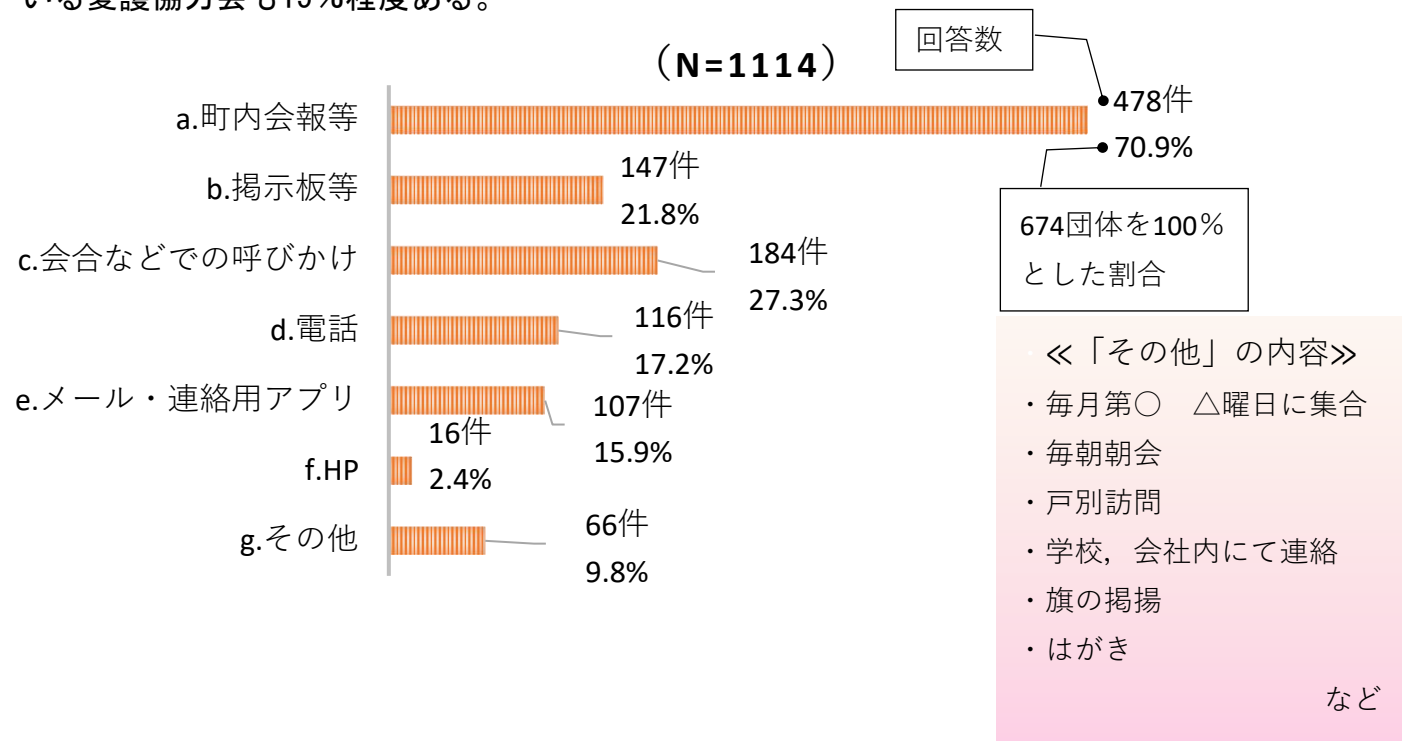
【1回あたりの参加人数】





問4 会員への活動の連絡は、どのような手段で行っていますか？（該当するもの全て選択）

○約70%の愛護協力会が、町内会報など紙面による連絡を行っている。メールやアプリを利用して
いる愛護協力会も15%程度ある。



問5 「地域の有志」が構成メンバーの場合、新規会員勧誘の取組みをしていますか？

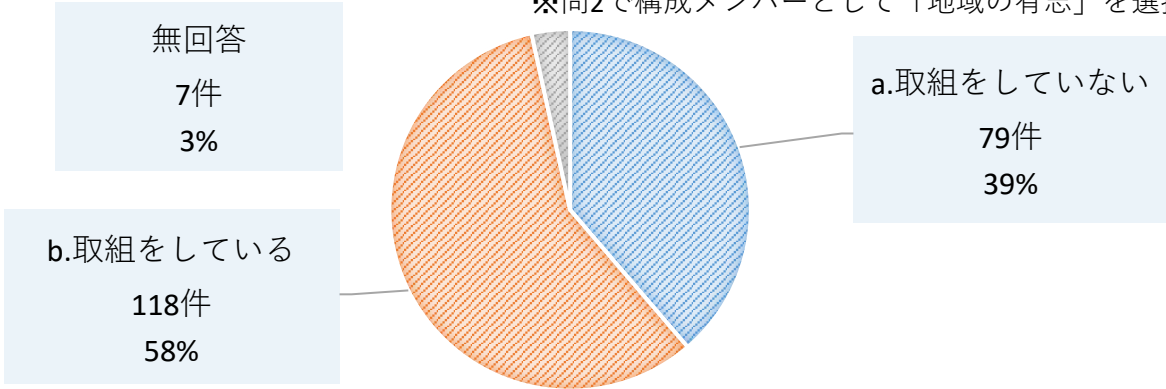
また、取組みをしている場合、どのような取組みをしていますか？

（該当するもの全て選択）

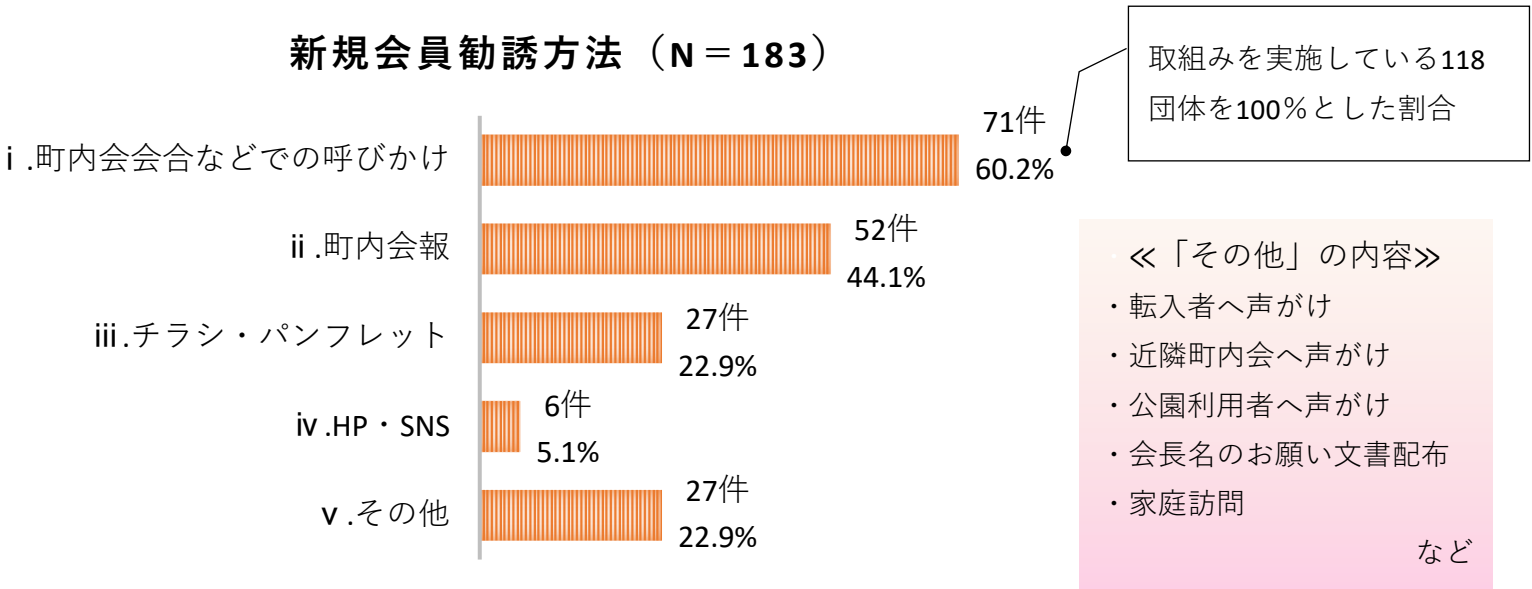
○半数以上の愛護協力会が、新規会員勧誘の取組みを行っている。手段としては町内会の会合での呼びかけが最も多く、次に町内会報が多い。チラシやパンフレットを利用している愛護協力会もある

取組み実施状況 (N=204※)

※問2で構成メンバーとして「地域の有志」を選択した団体数

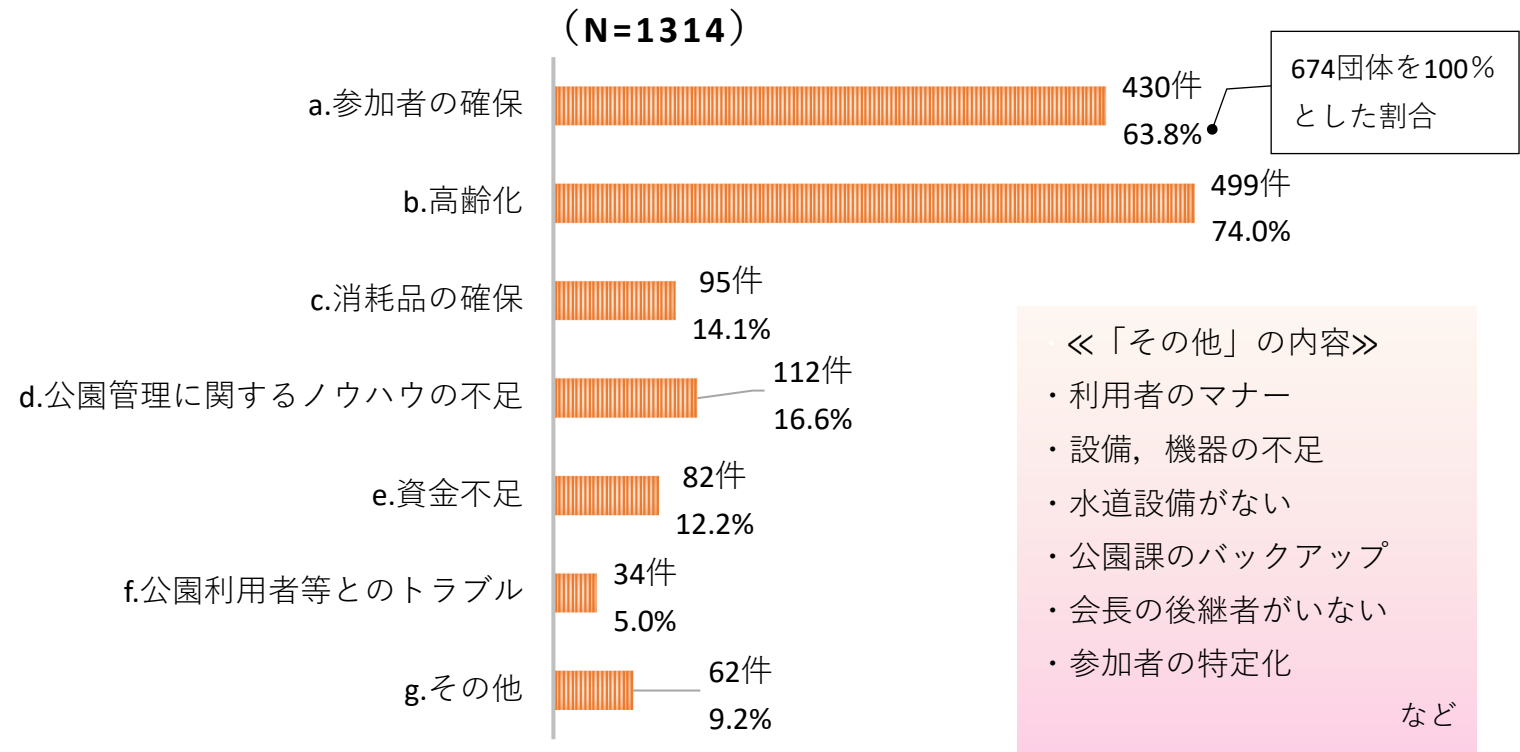


新規会員勧誘方法 (N=183)



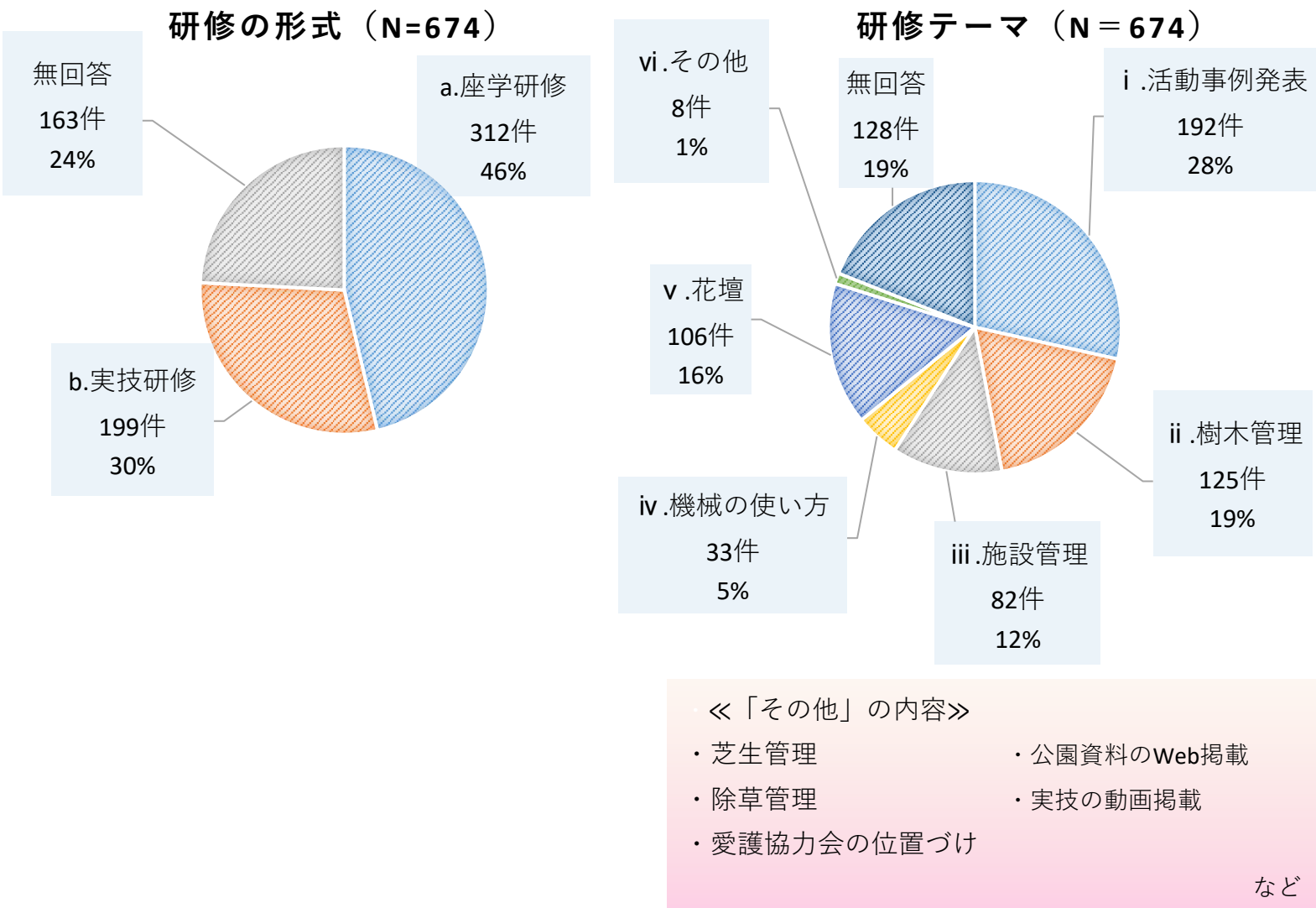
**問6 公園愛護協力会の活動を行ううえで、課題と考えていることは何ですか？
（3つまで選択可）**

○7割以上の愛護協力会が「高齢化」を課題としており、これに関連して「参加者の確保」が課題になっていると考えられる。



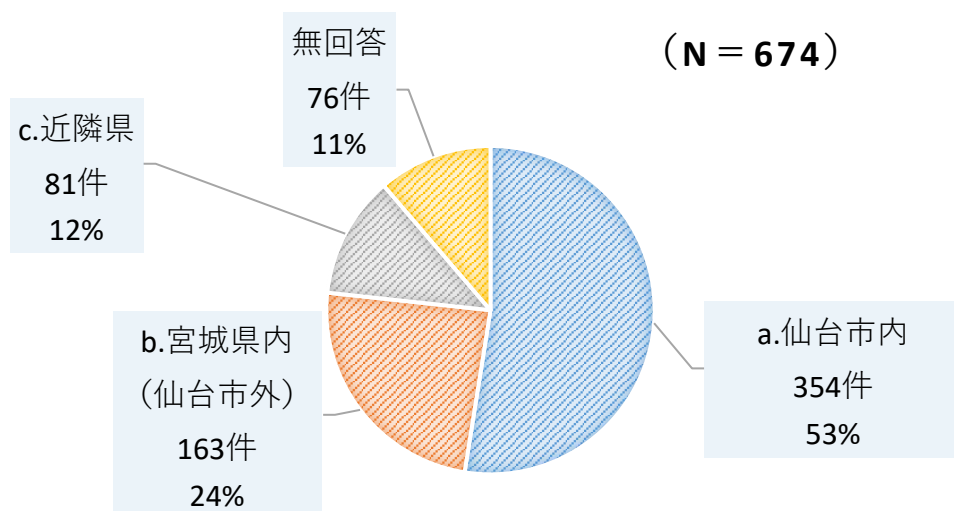
問7 支部研修会について、参加したい研修形式はどちらですか？また、関心のあるテーマはどれですか？（1つ選択）

○研修の形式の希望は「座学研修」が4割、「実技研修」が3割となった。テーマの希望は「活動事例発表」が最も多く、次いで「樹木管理」，「施設管理」となっている。



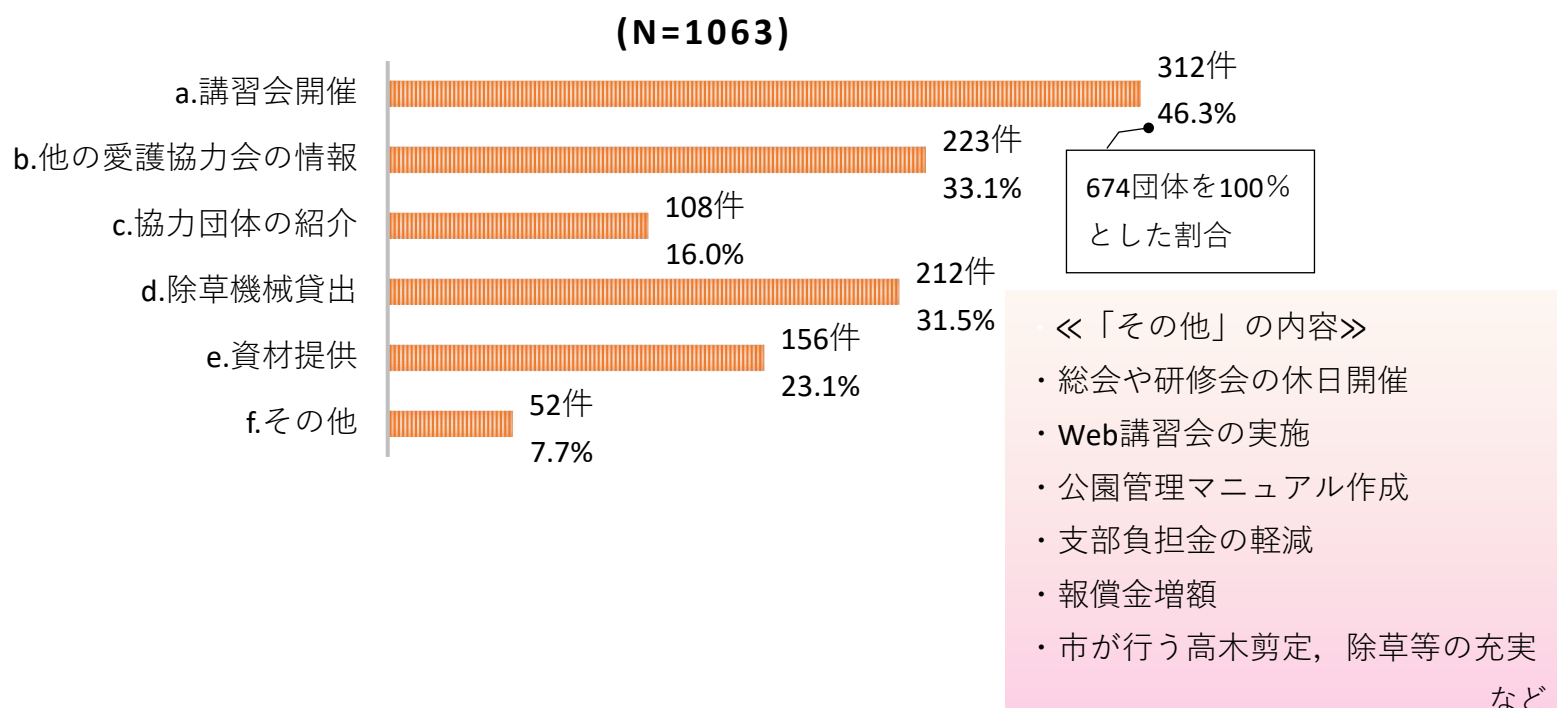
問 8 支部視察研修の視察先はどのエリアが適当と考えますか？（1つ選択）

○仙台市内の公園視察を希望する愛護協力会が多い。コロナ禍を経た影響も考えられる。



問 9 今後、公園愛護活動を円滑に進めるために、連合会や支部、仙台市に行ってほしい支援策や拡充してほしい支援策はありますか？（3つまで選択可）

○物資面での支援（d，e）よりも、有用な情報の提供（a，b，c）を求める愛護協力会が多い。



問10 「役員名簿」「活動計画書」「活動報告書」等の書類について、今後、電子申請による提出が可能となった場合、電子申請を利用したいと思いますか？（1つ選択）

○6割以上が「利用したい」と考えている一方、紙面による提出を希望する団体も一定数ある。

